

PasS の基板作成のポイント

基板自体のファイルは、BMP 形式のファイルです。したがって、ペイント系のソフトウェアであればどのようなソフトでも作成することが可能です。PasS での基板は背景としての扱いですので、特に穴の位置などずれていても（見た目は悪いですが）PasS 自体は問題なく動作します。

新しく基板を作る場合、作ろうとしている基板より大きめ既存の基板をペイントなどで加工していくと簡単にできます。これは基板の色については、現在表示されている色（薄緑）しか想定していないため、既存のものを利用し、色を抽出するのが楽であることと、膨大な穴の模様を書く手間が省けるためです。

以下、基板作成上の注意事項です。

表面

(1) 基板表面の穴の位置

穴の中心座標が、X 座標、Y 座標とも左上を (0, 0) とした 10 の倍数となるようにしてください。

(2) 基板の色

既存の基板の色と同じにしてください。(R, G, B) = (187, 201, 158)

別の色でも特に動作に支障はありませんが、部品の背景色がすべてこの色で統一されているため、見た目が悪くなります。また、黒色は基板外形幅の基準情報として利用します。

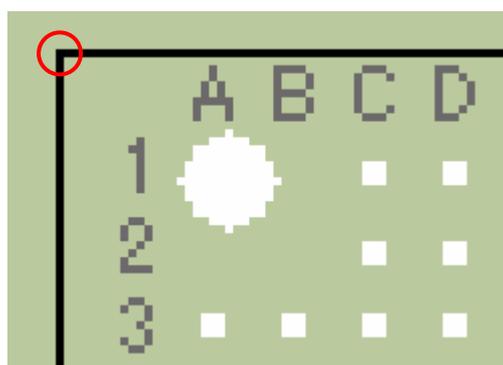
(3) 基板の外形線

基板の幅を最上部の黒色 (R, G, B) = (0, 0, 0) の場所で判断しています。

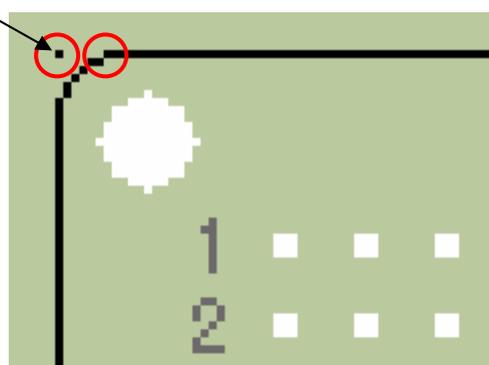
基板最上部の、基板の最右端と最左端の位置には必ず黒い部分を作ってください。

(左端の例)

の基板では、基板最上部の左端 a と、基板全体の最左端 a の位置が一致していますが、の基板では、基板最上部の左端 c は、基板全体の最左端 b の位置より内側にあるため、基板最上部の基板全体の左端の位置に・を追加し、黒い部分を作っています。



a



b c

(4) 基板のサイズ

最大で 横:970 ドット× 縦:830 ドット の基板まで作成できます。それ以外の制限はありません。

(5) 基板外の余白部分

無くても問題は有りませんが、部品置き場などの作業用として使用することができます。

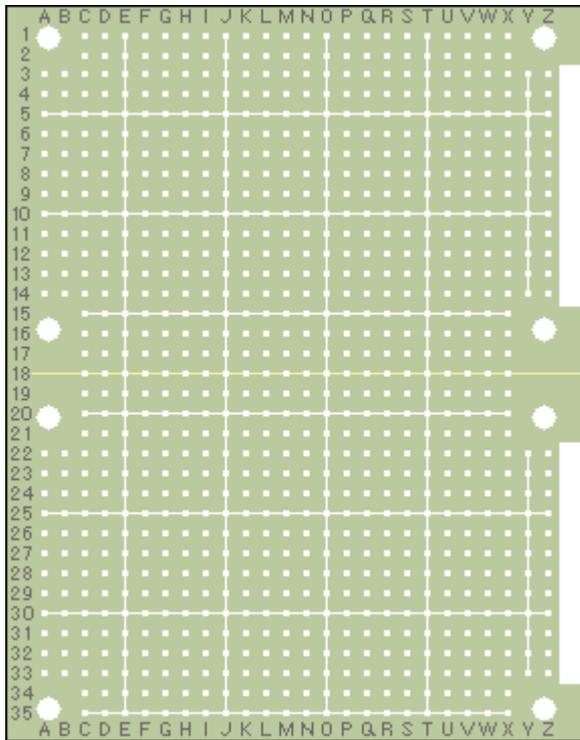
裏面

(1) 基板表面の穴の位置

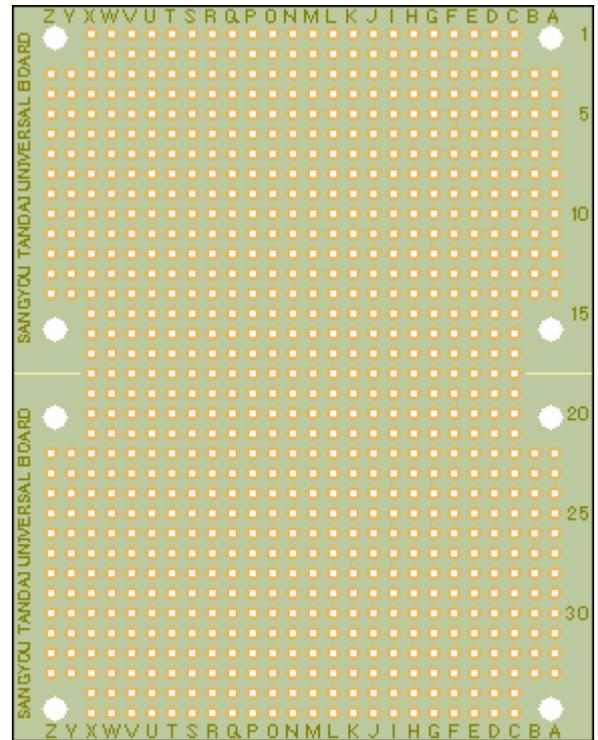
穴の中心座標は、表面の基板を左右反転した位置になっている必要があります。

(X座標、Y座標とも左上を(0,0)とした10の倍数となるとは限りません。)

表面



裏面



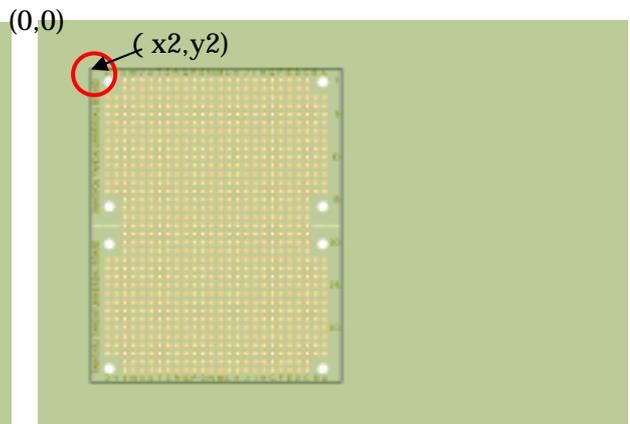
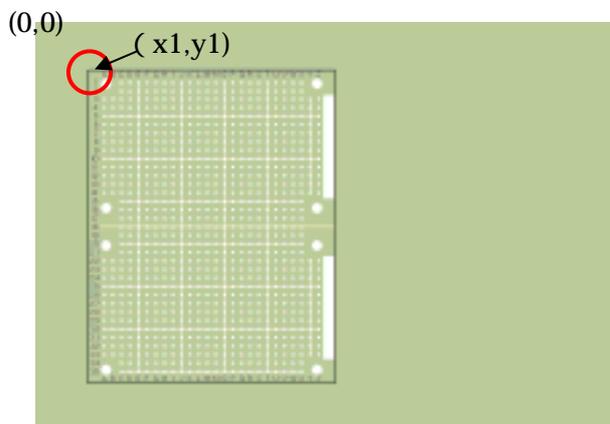
(2) 基板の色

既存の基板の色と同じにしてください。(R, G, B) = (187, 201, 158)

別の色でも特に動作に支障はありませんが、部品の背景色がすべてこの色で統一されているため、部品を裏面に配置した場合見た目が悪くなります。

(3) 基板の位置

表面の基板全体の左上端座標 (x1,y1)と、裏面の基板全体の左上端座標 (x2,y2)は、必ず一致していなければなりません。(x1,y1)=(x2,y2)



ファイル

(1) ファイル形式

BMP形式で保存をしてください。拡張子は .bmp になります。

(2) ファイル名

裏面のファイル名は、表面のファイル名の後ろに _ (半角アンダーバー) を付けたものにしてください。

(3) ファイル保存位置

作成した基板ファイルは、P a s S のインストールされたフォルダ内の parts¥Board フォルダにコピーしてください。

(4) ファイル管理

プログラム上では、基板ファイルの管理を行っていません。起動時または部品で基板を選択時に、parts¥Board フォルダ内に入っているファイルをその都度検索し画面上に表示しています。

基板の追加、削除はファイル自体の追加、削除で行ってください。